

越前市議会だより

第76号

令和6年(2024年)5月15日(水)
発行 編集 越前市議会
〒915-8530
福井県越前市府中一丁目13番7号
TEL:0778-22-3426
FAX:0778-23-3000
<http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html>



「しきぶきぶんミュージアム」関連主要事業



大河ドラマ館

紫式部プロジェクト

- 光る君へ 越前 大河ドラマ館(12月30日まで)
- 「光る君へ」ラッピングバス運行
- メディア活用による広報、V-tuberによる情報発信
- パブリック・ビューイング(出演者によるトークショー:6月16日)
- 紫式部の旅を再現(10月18日~10月20日)



紫式部プロジェクト事業/予算 8,000万円



本興寺の発掘調査

越前国府跡地の調査

- 令和5年度調査地の東側の調査(本興寺境内)
- 民間開発に伴う試掘・確認調査
- ボランティアガイドによるまちなか回遊ツアーの紹介
- 発掘現場公開
- デジタル技術(3D画像)による現場再現



埋蔵文化財調査事業(国府発掘調査)/予算 691万1千円

北陸新幹線に乗って紫式部ゆかりの越前市へ

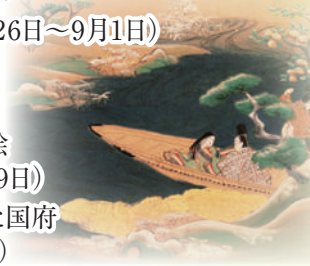
- 団体バスツアー助成
- 定額タクシー利用促進事業
- レンタカー利用促進事業
- トップクリエイター層やインバウンド富裕層への取り組み
- 高付加価値旅行者向けの体験プログラムの造成 等



観光推進事業(観光推進業務委託料)/予算 8,866万円

紫式部・源氏物語 関連展

- 「源氏物語が彩る工芸」(7月26日~9月1日)
- 「国府時代の仏像」(10月25日~11月24日)
- 「紫式部・源氏物語関連錦絵(浮世絵)展」(1月31日~3月9日)
- 紫式部と越前国府関連展示と国府発掘調査速報コーナー(通年)



公会堂記念館展示整備事業/予算 1,322万8千円

令和6年度当初予算を可決

北陸新幹線開業、大河ドラマを生かした越前市の魅力発信予算



令和6年度予算では、紫式部プロジェクト事業として、「大河ドラマ館」や、紫式部が都から越前の国へ赴いた旅の再現をはじめとし、越前国府の所在地解明のための発掘調査、紫式部・源氏物語関連企画展の実施など、多種多様な方面から、1年を盛り上げる事業が計画されています。

令和6年は、北陸新幹線開業と、紫式部を主人公とした大河ドラマが放送される大変重要な年となります。この好機を生かすために、市全体を「しきぶきぶんミュージアム」と位置づけ、全国に本市や福井県の魅力をアピールする事業の予算が議会に提案されました。

また、専決承認案1件を承認、人権擁護委員に関する人事案3件に同意しました。

このほか、議員の派遣(行政視察)1件を承認しました。



本号の主な内容

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 2面 | ◆議案審議 |
| 3面 | ◆議決結果・人事 ほか |
| 4~5面 | ◆一般質問 |
| 6面 | ◆一般質問
常任委員会委員長報告 |
| 7面 | ◆政策サイクル
特別委員会委員長報告
6月定例会の日程 |
| 8面 | ◆新幹線開業記念式典 ほか |

3月定例会の概要

令和6年3月越前市議会定例会は、2月21日から3月21日までの30日間にわたって開かれました。

この定例会では、令和6年度一般会計予算案など予算案14件をはじめ、越前市個人番号の利用に関する条例や越前市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部改正など条例案8件、一般議案2件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、いずれも原案どおり可決されました。

令和6年度 当初予算決まる

総 額 636億3,463万4千円
(前年度比0.8%増)

一般会計 379億6,400万円 (前年度比3.1%増)
特別会計 170億1,833万8千円 (前年度比0.6%増)
企業会計 86億5,229万6千円 (前年度比7.7%減)

3月定例会 議案審議



その他の審議については、
6月掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム [検索](#)

令和6年度一般会計当初予算審議

住み続けられるまちにするために

地域交通対策事業

2億6836万1千円

問 デマンド交通実証実験の内容は。

答 4月1日から9月30日までは、第1次実証実験として、北新庄・北日野エリアと味真野・栗田部・岡本エリアの2つのエリアで、週4日(月、火、木、土)午前8時から午後5時までを行う予定である。

次に、10月1日から翌3月31日までの期間は、同エリアにおいて、週6日に増加して運行する予定である。

また、第2次実証実験として、新たに令和6年10月1日から3月31日までの期間、週2日で、別のエリアでも行っていく予定であり、エリアの選定については、地域公共交通会議等で検討する。



デマンド交通の車両

問 公共交通再編成検討調査委託料の内容は。

答 地域公共交通計画の策定にあたり、市の公共交通の現状や、地域特性を把握、整理するための市民アンケートをはじめ、市内公共交通の利用実態を把握するための市民バス、デマンド交通、シャトルバス等の利用形態や利用者の意識調査を行うものである。

この他、市が独自に行う新幹線開業後の人流データの調査分析のための業務も計上している。

地域自治の継続した発展のために

地域自治振興事業

1億7046万7千円

問 自治振興の在り方について、ゼロベースで見直していると聞いているが、進捗状況は。

答 令和5年度の地域ミーティングでは、各地区が提案したテーマにより、地域が課題と感じていることや、地域が力を入れている事業について、意見交換を行った。

また、自治振興会事業や区長業務で負担に感じていることなどを把握するため、令和5年10月にアンケートを実施し、その結果を基に、2月には市自治連合会との勉強会を開催し、意見交換を行った。

令和6年度以降も、各地区自治振興会、区長へのヒアリング結果を基に、関係課と協議を進め、できるところから負担軽減を図っていきたいと考えている。

令和6年度には、市自治振興会との協働による自治組織の在り方研究会を開催予定であり、それに要する費用として、講師謝礼等の予算を計上している。

問 行政協力金の内容と、1町内あたりの交付金額は。

答 行政協力金は、「市と市自治連合会、各地区自治振興会との行政協力に関する協定に基づく業務について、区長の協力を得るために町内会に交付するもの」で、例えば、防災、防火、防犯、交通安全、その他の安全確保対策、広報物の各世帯への配布など、市民生活の向上、地域の発展および市制の円滑かつ効率的な運営を図るために必要な事項に関することを委託している。



交付金額は、1町内当たり均等割として2万3000円、世帯割として1世帯当たり1750円を乗じた額を交付している。

男女共同参画プランに基づく活動を実施

男女共同参画推進事業

675万7千円

問 事業内容は。

答 地域や企業に対する男女共同参画意識啓発のための出前講座や、6月の男女共同参画月間、11月の女性に対する暴力をなくす運動期間、12月の人権週間に合わせて講演会やパネル展示、3月8日の国際女性デーに合わせた啓発事業などを予定している。

問 男女共同参画センターを直営するに当たり、職員の負担は増加しないのか。

答 現在、男女共同参画センターでは、職員2名が交代で事業運営に当たっており、特定の職員に過度な負担がかからないよう、必要に応じて市民協働課全体で協力して取り組みを進めている。

新規就農者支援事業

新規就農者支援事業

270万円

問 事業の内容は。

答 新規に就農した営農開始直後の経営が不安定な時期から経営が安定するまでの間、所得を一定程度確保するため、資金を支援する国の事業である。本市では、現在2名の新規就農者を支援しており、いずれも園芸での就農である。

問 新規就農者の経営状態は。

答 先輩農家から経営指導、技術指導を受けており、順調と考えている。



支援事業によるぶどう畑の整備

市民が自然と触れ合える憩いの場を

森林環境譲与税事業

5380万4千円

問 事業の内容は。

答 森林整備や、森林に従事する人材育成、担い手の確保のほか、新たにウッドチップの取得や地域への貸出し、ハツ杉森林学習センターや金華山グリーンランドなどの森林拠点の活性化事業、若竹を使用しメンマを製造する事業等である。

問 村国山の芦山公園整備の内容は。

答 車道沿線の樹木伐採や枝打ち、桜の補植、展望台の塗装改修等を予定している。そのうち、沿線の樹木伐採、枝打ちは森林環境譲与税の活用対象のため、環境農林部が行い、その他対象外の部分は建設部で行うこととしている。

問 村国山での活動ではどのような団体が関わって整備を行っているのか。

答 市民団体や、地元自治振興会等が施設整備や園内の美化活動、イベントの開催等、さまざまな取り組みを実施している。

令和5年6月には、武生ライオンズクラブの主催で、「村国山へ行こう！クリーンアップ大作戦」が実施され、園内の遊歩道に安全柵を設置する取り組みが行われた。

今後も、各種イベントや園内の環境保全、整備に関する取り組みを通して、市民団体や地元と連携し、市民はもとより、市外からの来訪者にも、村国山の魅力を感じてもらえるよう整備していきたい。



そうだ!村国山へ行こう!

議案の議決結果

令和6年3月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議 案	件 名	付託委員会	議決結果
議案第 1号	令和5年度越前市一般会計補正予算（第10号）	総務 教育厚生 産業建設	可決（全員）
議案第 2号	令和5年度越前市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	教育厚生	可決（全員）
議案第 3号	令和5年度越前市介護保険特別会計補正予算（第2号）	教育厚生	可決（全員）
議案第 4号	令和5年度越前市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	教育厚生	可決（全員）
議案第 5号	令和5年度越前市水道事業会計補正予算（第2号）	産業建設	可決（全員）
議案第 6号	令和5年度越前市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	可決（全員）
議案第 7号	令和5年度越前市下水道事業会計補正予算（第2号）	産業建設	可決（全員）
議案第 8号	令和6年度越前市一般会計予算	総務 教育厚生 産業建設	可決（全員）
議案第 9号	令和6年度越前市国民健康保険特別会計予算	教育厚生	可決（全員）
議案第10号	令和6年度越前市介護保険特別会計予算	教育厚生	可決（全員）
議案第11号	令和6年度越前市後期高齢者医療特別会計予算	教育厚生	可決（全員）
議案第12号	令和6年度越前市水道事業会計予算	産業建設	可決（全員）
議案第13号	令和6年度越前市工業用水道事業会計予算	産業建設	可決（全員）
議案第14号	令和6年度越前市下水道事業会計予算	産業建設	可決（全員）
議案第15号	越前市個人番号の利用に関する条例の一部改正について	総務	可決（全員）
議案第16号	越前市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部改正について	総務	可決（全員）
議案第17号	越前市手数料条例の一部改正について	教育厚生	可決（全員）
議案第18号	越前市国民健康保険税条例の一部改正について	教育厚生	可決（全員）
議案第19号	越前市介護保険条例の一部改正について	教育厚生	可決（全員）
議案第20号	越前市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について	教育厚生	可決（全員）
議案第21号	越前市水道事業給水条例の一部改正について	産業建設	可決（全員）
議案第22号	越前市工業用水道事業給水条例の一部改正について	産業建設	可決（全員）
議案第23号	市道路線の認定及び変更について	産業建設	可決（全員）
議案第24号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度越前市一般会計補正予算（第9号））		承認（全員）
議案第25号	財産の取得について	教育厚生	可決（全員）
議案第26号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意（全員）
議案第27号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意（全員）
議案第28号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意（全員）
請願第 1号	UPZ 内の安定ヨウ素剤事前配布を求める請願書	総務	採択（賛成総数）

令和5年度一般会計補正予算審議

能登半島地震 被災地支援

危機対策管理事業

819万5千円

問 市が行った支援の内容と今後は。

答 県の要請を受け、珠洲市には避難所運営や健康相談支援のための職員を、災害時相互応援協定を結んでいる七尾市には、災害廃棄物仮置場の運営や給水業務、水道管路応急復旧支援の職員を派遣している。そのほか、穴水町、中能登町、羽咋市には、被災建築物応急危険度判定や、下水道管渠点検、応急給水、被災宅地危険度判定などの業務に、専門の技術職員を派遣している。

また、都市連携協定を結んでいる高岡市には毛布や飲料水、ブルーシートなどを搬送したほか、七尾市には、市民や企業、団体からの寄付を含め、ブルーシートや飲料水を搬送している。

4月以降も県や関係機関と連携して、要請に応じて被災自治体へ継続した支援を行っている。



応急給水活動

3月定例会で採決された人事

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

山本 隆徳氏（庄田町）

上道 英夫氏（柳元町）

西野 茂生氏（平出一丁目）

3月定例会
一般質問

3月定例会では、18人の議員が3月1日、4日、5日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。
顔写真横の二次元コードを読み取ると、それぞれの録画映像をご覧ください。

交通

地域交通について

問 地域交通が多額の負担となる中、地域公共交通計画の策定について方針を示せ。

答 移動制約者の移動手段確保という基本的市民サービスの考えの下、地域公共交通機関を支援し、結果として財政負担が増大してきている。北陸新幹線開通など、モビリティ転換の大きな節目であることから、様々な実証実験の結果を踏まえつつ、地域公共交通計画の策定に当たりたい。

他の質問項目

・中学校での休日の部活動について



誠和会
川崎 俊之



他の質問項目

・地域循環共生圏(ローカルSDGs)について

地域の移動を担う交通手段について

問 鉄道を除いた地域交通は、路線バス、市民バス、デマンド交通、自家用有償旅客運送、タクシーとあるが、それぞれの課題はなにか。

答 路線バスは利用者の減少が続いているため、市の財政負担が増えている。市民バス利用は減少傾向にあり、デマンド交通、自家用有償旅客運送は実証実験中、タクシーは運転手不足への支援が必要となっている。各課題を整理し、令和6年度に地域公共交通計画を策定する。



会派 郷働
橋本 弥登志



財政

スクラップ・アンド・ビルドを基にした予算編成とは

問 約15年後には、本市予想人口6万人という数字が出ており、現在から、2万人が減少する推計である。人口減による経済活動縮小から、財政規模縮小、財政の硬直化が予想されるが、今後の市政をどのように対処していくのか。

答 税収が減少すると、増加する財政需要に対応できない。企業誘致、観光誘客を強化し、投資や、消費を呼び込み、地域経済の好循環をもたらす施策を実施していく。

他の質問項目

・外国人市民との交流をどのように進めるのか
・路線バスへの補助金が限度なしでよいのか



誠和会
畑 勝浩



健全化3指標にみる今後の財政について

問 具体的な市民の将来負担、財政の健全性を目的とした数値目標や、行政の効率化を通じた経費抑制策など、市財政の健全化にかかる方向性について、どのように考えているのか。

答 継続して市民サービスを提供していくためには、財政健全化は重要な要素であり、中期財政計画において、5年間の見通しを立て、財政運営の基本としている。行政の効率化について、最小の予算で最大の効果が得られるよう前例にとらわれず創意工夫をもって進めていく。



会派 郷働
川崎 悟司



農業

温室効果ガス削減、脱炭素に向けた取り組みについて

問 食と農の創造ビジョン、食と農の創造条例において、環境が入るのであれば、今回改定の対象となっている基本計画だけでなく、基本構想の修正も必要と思うが、考えは。

答 市民の命を育む食、家族で囲む食卓、それを支える地元農業、農家と消費者との交流、この関係性を生かした生物多様性の確保、地球温暖化対策などは、市民の持続可能なウェルビーイングにつながるものと考えている。今回の食、農業、農村、環境に関する基本政策や具体的施策についてはビジョンで、その源流となる普遍的理念を未来に向け、市内外への宣言として、条例において表現したい。



誠和会
大久保 健一



有機農業の推進について

問 オーガニック都市宣言など、さらなる有機農業を推進する取り組みのためにも、市長の強いリーダーシップを期待するが、市長の考えは。

答 オーガニック都市宣言は、市民を代表して市長が行う。厳しい農業をめぐる情勢の中、持続可能な農業のあり方や、市民の食の安全、地球温暖化対策など、農業が果たす役割を考えると、有機農業を進めることが必要であると考えている。市内の先達である有機農家から脈々と引き継がれてきた精神や技術が、次代の農業者に継承されるよう努力していきたい。

他の質問項目

・能登から学ぶ、災害対策について
・都市との交流について



一志会
佐々木 哲夫



自治体DX

自治組織デジタル化について

問 行政の災害時一斉情報発信に併せて地区・町内会もデジタル化を急ぐべきではないか。

答 町内会のデジタル化については、町内活動の課題解決に向け、デジタル化を進めたい町内会において、LINEを使った連絡網の構築など、情報伝達のデジタル化を進めていく。災害情報については、市公式LINEに登録することで、市からの災害情報をスマホで直接受け取ることができる。

他の質問項目

・木造住宅耐震化について
・災害時情報発信について



会派 創至
能勢 淳一郎



自治体DXと市民サービスについて

問 越前市公式LINEについて、詳しく説明を。

答 スマートフォンで本市の行政サービスを利用できるよう、令和4年8月から運用を開始した。「くらしの情報」や、市広報紙の電子版の閲覧も可能としている。また、ごみ収集情報や、イベント情報、子育て情報など、登録者自らが設定することにより、自動的に受信できる。さらに、道路の損傷連絡など、市民から行政への情報提供機能も備えている。



市民ネットワーク
砂田 竜一



※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をたどすために行う質問のことをいいます。

防 災

災害発生後に有効な災害協力協定の充実を図れ

問 能登半島地震では、昨年未締結した運輸会社との災害協力協定により、高岡市への迅速な物資支援ができたとのこと。発災時の救援活動が期待できるこの協定先を、更に増やす予定はないのか。

答 今回の能登半島地震で、災害協定の重要性を改めて実感した。災害時に協定内容を確実に実行できるよう、必要に応じて協定内容の確認や防災訓練の参加など、実行性を高めるよう努めている。今後は、他自治体の協定の例を参考に考えていく。

他の質問項目

- ・越前たけふ駅開業後に向けての課題や提案

会派 郷働
近藤 光広



特別支援学校を障害児の避難所に

問 災害時に障害のある子どもたちが一般の避難所に避難することは難しいことから、県外では、特別支援学校を障害児の避難場所に指定している自治体もある。ぜひ南越特別支援学校を障害児の避難場所として欲しい。なお、当事者の意見を十分に聞く場の設定を望む。併せて、途中経過も関係者に周知して欲しい。

答 現在、市では南越特別支援学校と9月末を目途に協議締結に向けた協議を始めている。当事者からの意見を反映することも必要と考えている。協議の進捗状況については、学校を通して保護者への周知を図ってもらうよう学校に依頼する。

市民ネットワーク
大久保恵子



防災備品として、小学校教室に防災頭巾配置を

問 能登半島地震では、2度目の震度7の揺れで被害が出た。在校時に被災すると、屋外避難のため廊下に出た時点で、飛散したガラスを浴びることになる。安全確保を考え、防災備品として各教室に防災頭巾を配置すべき。

答 防災頭巾は屋外に避難する際に、落下物や飛散するガラスなど頭部や首の保護に一定の効果がある。能登半島地震を踏まえ、教育現場と協議しながら、今後の対応を検討する。

他の質問項目

- ・ヤングケアラーの取り組みに家族支援を
- ・危険ブロック塀の撤去や改築について

会派 郷働
安立 里美



震災を踏まえ、防災全般について

問 県道武生美山線の消雪設備工事の進捗状況は。特に、東消防署もあることから、残りの消雪整備の状況を示せ。

答 県道武生美山線の消雪設備工事については、令和5年度に詳細設計が完成した。令和6年度から本格的に工事に着手し、令和8年度の完成に向けて整備していくと県から聞いている。早期完成に向けて、引き続き県へ要望していく。

会派 郷働
小玉 俊一



他の質問項目

- ・越前たけふ駅周辺と新幹線開業後の経済効果について



文化財

こども家庭センター設置について

問 子ども・子育て総合相談室の課題とセンターを設置する目的は何か。相談件数が年々増加している中、支援の緊急性が高い子どもや家庭の支援に時間を要し、予防的な支援が手薄になっている。センターを設置することで、その課題解決のため、専門職の配置や児童相談システムによる迅速な情報共有等により、支援体制の強化を図り、母子保健及び児童福祉の分野における、相談から支援までを切れ目なく一体的に行う。

他の質問項目

- ・発掘調査は、市民ボランティアの協力を最大限に生かす工夫を
- ・障害者就業・生活支援センターの設置について

会派 郷働
題佛 臣一



観光誘客の推進について

問 3月16日には、北陸新幹線が敦賀駅まで延伸され、三大都市圏からの時間短縮や、北陸三県が1時間圏内につながるなど、本市や丹南地域の地域資源を最大限に活用し、観光誘客につなげ、強力で推進せよ。丹南地域には観光地が少ないが、伝統産業の5産地が集積していることや、全国的な知名度を誇る越前ガニもあり、丹南の2市3町が連携したプロモーションにも取り組んでいきたい。2月23日の「光る君へ越前大河ドラマ館」のオープンで、多くの観光客が来訪されるよう取り組んでいく。

他の質問項目

- ・防災減災の推進について
- ・子どもの弱視に関する早期発見について

諸派(公明党)
桶谷 耕一



国分尼寺と考えられる古代帆山寺の発掘調査を進めよ

問 国府の所在を示す大型建物である国分尼寺と考えられる「古代帆山寺」の発掘調査を望むが、市の考えは。

答 越前国府跡と同時に、いまだ解明されていない当初の国分寺や国分尼寺の跡地解明は、国府研究を進めるうえで重要である。国府発掘調査の後、国分寺や国分尼寺についても、試掘調査に取り組んでいきたい。

市民ネットワーク
土田 信義



越前和紙バレー創造事業について

問 令和6年度から3年間にわたるハード事業とソフト事業の内容は。

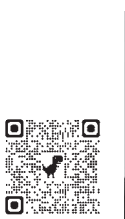
答 (株)デキタによる整備計画策定のもと、五箇エリアで、越前島の子紙研修施設の整備、古民家を活用した上質な宿泊施設の整備、和紙の里通り周辺の一体的な景観を再整備し、文化財をブランド発信的・観光の側面から際立たせ、有効に活用して「地域のスペシャリストガイド」の人材育成を想定している。

一志会
清水 一徳



他の質問項目

- ・三田村家文化財所蔵品に関する件について



給 食

短期間ではなく制度として学校給食無償化を

問 給食費の無償化を実施している自治体が全国や県内でも広がりつつある。本市では小学校で3カ月間に限って無償化されたが、今後の制度として無償化を実施するべきではないか。

答 実施することには否定的ではない。3カ月ならその時の財源を確保してできるが、制度として固定費を増やすことで、福祉や子育て、教育支援などに影響を与えてはならないため、そこを見極めて対応していきたい。

他の質問項目

- ・就学援助制度の援助費目、援助費の拡充について
- ・災害時の指定避難所となる体育館などの空調整備について

諸派(日本共産党)

前田 修治



事務組合

一部事務組合の在り方について

問 丹南広域組合の主要な事業について、電算処理から観光などの意味ある広域連携へと考えていくべき時代において、市が発揮すべきリーダーシップについて、どのように考えているのか。

答 電算処理の共同化によりコストが削減されているが、今後の方向性については、議論されるべきである。あわせて、越前たけふ駅を中心とした丹南地域としての周遊などの観点が重要になってくるため、従来よりも踏み込んで、各観光協会や県観光連盟と連携して取り組みを進めるのが望ましいものと考えている。

会派 郷園

城戸 茂夫



常任委員会
委員長報告

総務委員会

出張所の在り方を検討せよ

問 コンビニでの各種証明書交付などにより、利用状況が減少している各出張所の在り方に対し、市はどのように認識しているのか。

答 デマンド交通の実証実験において、味真野から今立総合支所まで乗り継ぎなしのルート構築している点や、「手のひら市役所」として、市役所に行かなくても各種申請等ができるよう今後進めていく点などを考慮すると、令和8年度以降に味真野公民館耐震化工事を控えていることもあり、味真野出張所の在り方について検討していく段階にきていると考えている。

シャトルバス運行の方向性を示せ

問 シャトルバス運行業務について、市民から運賃が高いとの声が上がっている中、料金見直しなど、今後の方向性をどのように考えているのか。

答 料金設定に当たっては、デマンド運行や定額タクシーの料金を考慮しながら、運賃設定したものである。運賃が高いという市民からの声は、市としても認識している

が、路線バスではなく貸し切りバスとして料金を設定しているため、現状では料金の見直しは難しいものと考えている。

今後、地域公共交通計画を策定する中で、利用状況を見ながら、料金、運行形態について、検討していきたい。

行政協力金の算定方法の見直し内容は

問 政策提言として、行政協力交付金の外国人世帯の算定方法について、全ての外国人世帯を基礎数値に算入するよう見直しを求めたが、境界を設けることとしたのはなぜか。

答 各区長から意見を徴取する中で、町内ごとに外国人住民の地域活動への参入に温度差があることを再認識した。行政協力業務は、区長に業務を委託することから、全ての区長に対し、外国人世帯全てに日本人と同様の活動を求めることは、現時点においては困難であることから、町内活動に参加しているなど、既に町内会に加入している世帯のみ基礎数値に算入したところである。市としては、最終的に全ての外国人世帯を基礎数値に算入することを目指している。

教育厚生委員会

不妊治療助成金の周知を

問 不妊治療費助成金の実績および制度の周知方法は。

答 実績は、令和4年度には26件だったも

のが、令和5年度には76件の見込みであり、増加している。

助成制度は産婦人科等で周知を行っていることと、県の助成決定後に市に申請するようになっているため、周知漏れはないものと考えているが、今後も制度の周知に努めていく。

市社会福祉協議会とのさらなる連携を

問 議会からの提言にどう応えたか。

答 3本に分かれていた補助金を1本にまとめることともに、補助事業を市社会福祉協議会が実施している地域福祉活動に合致させ、さらに提言にあった地区住民に寄り添い、その求め、必要性に応じ取り組む旨を要綱に記載した。

問 今後の社会福祉協議会との連携は。

答 市社会福祉協議会は地域福祉を推進する中心的な団体であり、重要な役割を担っていること認識している。今後も常日頃から意思疎通を図りながら地域福祉を推進していきたい。

新斎場のあり方の十分な検討を

問 アドバイザー委託料の内訳は。

答 特殊な火葬炉設備を有する施設を整備するにあたり、専門的な知見からの助言を求めるものであり、また、火葬炉の選定や建物の設計等の助言を得るものである。

水泳学習の安全確保を

問 早期に全小学校の水泳学習を武生中央公

園温水プールで実施することとした理由は。

答 屋外での水泳学習における熱中症や紫外線の問題に対処することなどが理由として挙げられる。

問 水泳学習の安全対策は。

答 1人のインストラクターにつき10人程度の児童を指導していることに加え、教員も付いており、プール全体を見守ることで対策している。

産業建設委員会

有機農業への行政支援を

問 有機農業は継続が大変であるが、行政からの支援は。

答 令和5年度に、大規模に有機農業に取り組んでいる農業法人から、そのノウハウを見聞きして、マニュアルの原案を作成した。これを基に、有機農業のノウハウを体系化して一層の普及を図りたい。

越前和紙関係予算の各組織の連携や経済効果は

問 和紙関係の予算が増加しているが、どのような取り組み、連携を考えているのか。

答 人口減少の中で、観光推進により交流人口や関係人口を確保していくことが重要になっている。一般の観光客から富裕層までの幅広い取り組みが必要であるが、特にインバウンドやクリエイターなどのトップ層による経済効果を得るために、認知度向上に取り組んでいる。本市は、越前和紙を

耐震化を推進する政策を

問 費用が高額で耐震化が進まない中、耐震化を希望する人への助成制度の周知や費用が負担にならない工夫は。

答 150万円の補助額増加は2年間限定のため、多くの人が利用できるように広報活動を積極的に行っていく。また、費用を3割程度削減できる工法の普及について、業者対象の講習会を通して普及していきたい。

下水道使用料が減少している理由と経営方針は

問 下水道への接続世帯数は増加している一方で、下水道使用料が減少している理由と収入減少に対する経営方針は。

答 下水道使用料は上水道使用料に応じて賦課されるが、人口減少や節水型機器の普及により毎年使用料は減少している。今後、下水道整備費や人件費といった固定費を減らすことは困難であるが、経営戦略の中で検討していく。

議会からの提言に対する新年度予算への反映を確認

当市議会では、試行的に「決算審査と予算審査を連動させる政策サイクル」に取り組んでいます。

令和5年10月23日には、議長から市長に対して、新年度での当初予算の編成に向け、3つの提言を提出しました。

3月定例会に当たり、提言への回答を受け、各常任委員会において、令和6年度当初予算への反映状況を審査・確認しました。

今後、市の取り組み状況をチェックしていきます。

議会からの提言(概要)

① 地域振興事業
(行政協力交付金)
外国人世帯の行政協力金の算定方法を見直し、基礎数値への参入を求める。

② 地域ネットワーク
活動事業・重層的支援体制整備事業(補助金)
市社会福祉協議会が、より地域密着型の福祉活動に取り組めるよう、補助金の一本化などの検討を求める。

③ 森林環境譲与税
基金事業
森林環境譲与税の基金積み立てをせず、不用木撤去や林道の維持する保全への補助対象を拡大するなど、市民ニーズに沿った事業の推進を求める。

提言の検討結果

1 町内会活動に参加している外国人世帯は、日本人市民との交流が図られていることから、区長申告により基礎数値に含める。

2 町内会未加入の外国人世帯は、2以上の町内行事の参加案内等の情報発信を行っている場合に対象世帯とする。

1 3つの補助金を統合し、「市社会福祉協議会地域福祉活動補助金」として一本化する。

2 「地域ネットワーク活動事業」は「重層的支援体制整備事業」に統合する。

3 提言のあつた内容を交付要綱に規定する。

1 森林の適切な管理の観点から、危険性のある木を対象とする。

2 林道に限らず、登山道の安全管理や修景に活用可能な制度を設計する。

3 森林施業や活用併せ、森林の適切な管理に使用可能な制度を設計する。

4 村国山をモデルとし、登山道や視点場の安全管理や修景に使用可能な制度を設計し、他地域への展開を図る。

議会活性化
特別委員会報告

本特別委員会は、1月10日および3月15日に開催しました。

1月10日の委員会では、議員報酬について、最終的な検討結果を取りまとめ、1月17日および30日の議員協議会にて、全議員で協議するとともに、議会運営委員会にて申し入れの確認を行い、3月29日には市長に議員報酬の見直しを求める申し入れを行いました。

3月15日の委員会では、市議会議員政治倫理条例について、これまでの委員会での検討内容をもとに改正案を協議し、議員協議会にて全議員の意見を聴取することとなりました。

今後は令和6年6月定例会での条例改正を目指し、協議を進めていきます。

また、有事の際であっても、議会を継続するための議会BCP(議会機能継続計画)の策定に向けて、市議会災害時対応規程に定められた内容の検証を行いました。

今後も早期の策定に向け、協議を行っていきます。

そのほか、議会活動の見える化の一環として、議員による出前講座の開催や、議会だよりなどを活用する方法について、調査、検証を進めていくこととしました。

6月定例会の日程

月 日	時 間	会 議 名	こしの都ネットワーク 再放送予定時間 (変更になる場合もあります)
6月13日(木)	午前10時	本会議(提案理由説明)	6月14日(金) 午後6時
17日(月)	午前10時	本会議(質疑)	6月18日(火) 午後6時
20日(木)	午前10時	本会議(一般質問)	6月25日(火) 午後6時
21日(金)	午前10時		6月26日(水) 午後6時
24日(月)	午前10時		6月27日(木) 午後6時
25日(火)	午前10時	本会議(一般質問・予備日)	6月28日(金) 午後6時
26日(水)	午前10時	教育厚生委員会	
27日(木)	午前10時	産業建設委員会	
28日(金)	午後1時	総務委員会	
7月1日(月)	午前10時	総務委員会(予備日)	
2日(火)	午前10時	議会活性化特別委員会	
	午後1時30分	公共交通対策特別委員会	
3日(水)	午後1時	議会運営委員会	
5日(金)	午後2時	本会議 (委員会審議結果報告、 質疑、討論、採決)	7月8日(月) 午後6時

議会中継は
こしの都ネットワークや
インターネット・スマートフォン
でもご覧いただけます



こしの都ネットワーク
の場合

こしの都ネットワークで議会放送を見るときは92チャンネルです。
議会放送中、091チャンネルは図のようになります。

【通常放送時】

地域ふれあいチャンネル

091ch

【議会放送時】

地域ふれあいチャンネル

議会放送 092ch

議会放送(重なった場合) 093ch

議会放送を見るためにはリモコンのこのボタンで092チャンネルに合わせてください。



インターネット・
スマートフォンの場合

本会議の録画映像は**見たいときにいつでも議員ごと**に見ることができます。
議会中継をご覧になるときは、市のホームページから入って次の手順でアクセスしてください。

■越前市議会をクリック



■インターネット議会中継をクリック



北陸新幹線 越前たけふ駅開業

令和6年3月16日に、北陸新幹線金沢―敦賀間が、整備計画決定からおよそ半世紀を経て、ついに開業しました。

当日は好天に恵まれ、越前たけふ駅では、6時23分発の東京行き一番列車かがやき502号の出発式が、映画「おしよりん」に出演された小泉孝太郎さんを二日駅長に迎えて盛大に行われました。また、道の駅では、議長をはじめとした議員も参列した開業記念式典が行われたほか、



越前たけふ駅での開業記念式典



越前たけふ駅とブルーインパルス

か、小泉孝太郎さんのトークショーなどのステージショーや、各種団体の出展ブース、ブルーインパルスの飛行などの催しにより、さまざまな市民や来訪者の皆さんが開業を祝いました。

新幹線開業は、これまで駅整備に携わった先人の努力により、船出することができましたが、さらなる開業効果が発揮できるよう、市議会も市当局と連携し、大阪延伸にむけて、継続的に働きかけを行っていきます。

また、市では、大河ドラマ関連事業や越前和紙バレー創造事業など、本市の魅力を発信する事業を予定しており、各種事業が新幹線開業効果を十分に発揮でき、新たににぎわいが生まれるものと期待しています。

にじいろこども園 内覧

3月18日に、全議員を対象とした、にじいろこども園の内覧会が実施され、開園前の状況を確認しました。

にじいろこども園は、なかよし保育園、上太田保育園、武生西幼稚園を統合し、令和6年4月開園しました。

このこども園では、医療的ケア児の受け入れや、より丁寧な配慮を必要とする子どもへの支援のほか、園内に「市乳幼児教育・保育支援センター」を設置し、市全体の就学前教育・保育の質の向上を図ります。

市議会でも、こども園の開園時期や教育・保育の内容について、多くの議員が注目し、質疑や協議を行ってきました。

今後は、建設予定の吉野地区新公立認定こども園についても、議論を重ねていきます。



にじいろこども園内覧

議会モニターと総務委員会との語る会

4月9日に、議会モニターと総務委員会との語る会を開催しました。

今回は、「市の財政について」をテーマに、総務委員長からの説明後、2グループに分かれて意見交換会を実施しました。

意見交換会では、物価高騰が続く中、昨年度比5%の削減を求めることは行政事務の低下を招くのではないかなど、意見が出されました。また、子ども子育て政策や、ひとり暮らしの高齢者への支援、法人税収、新幹線開業による税収の増加についてなど、非常に幅広い分野での意見交換が行われました。



議会モニター会議での意見交換

議会モニター1年を終えて

令和5年度の議会モニター会議では、各定例会後の会議に加え、教育厚生委員会、産業建設委員会、総務委員会との意見交換を行いました。

1年間を通し、議会モニターの皆さんからいただいた意見の一部を紹介します。

本会議・委員会の傍聴

- ・議員が写真や資料を見せて質問について、興味を引いた。このように市民が質問に興味を持つような方法など工夫するといった。
- ・傍聴者が少ない感じがする。傍聴者も議会モニターも若い年齢層がいらない。議会を傍聴することで議場へ来ることへの抵抗感が少なくなるので、若い年齢層に関心をもってもらうように働きかけて欲しい。

議員との意見交換会

- ・テーマに沿った内容で意見交換ができ、直接議員の考えや思いが伝わるのがよかった。

議会モニター制度について

- ・幅の広い年齢層の方もモニターとして人選し、特に若い人などにも参加してほしい。
- ・日中の時間帯だと、働いている人や子育てしている人の参加は難しいので、できれば土日や夜などの時間帯に行うなど、検討できないか。

◆モニター制度とは

議会への市民参加を推進する取り組みの一環として、市民の意見を議会活動に反映できるように議会運営に対する要望やご意見をいただくために導入された制度です。

議会モニターの皆さん

岩田 良司氏(越前たけふ農業協同組合推薦)
宇野 純子氏(武生商工会議所女性会推薦)
江川 幸恵氏(公募)
小畑 明弘氏(市自治連合会推薦)
加藤のぶ子氏(公募)
倉橋 豊氏(武生商工会議所青年部推薦)
高山 友宏氏(連合福井丹南地域協議会推薦)
内藤 則幸氏(公募)
中野 博美氏(市女性会推薦)
藤 光真氏(市社会福祉協議会推薦)
前田千斗世氏(市商工会推薦)
三田村範幸氏(市いきいきシニアクラブ連合会推薦)
三井 義文氏(武生青年会議所推薦)

(五十音順・敬称略)

議会モニターの皆さん、1年間で協力ありがとうございました。

問合せ先

市議会事務局

Tel (22) 3426